



最近の県内経済情勢

平成24年1月25日

財務省関東財務局
長野財務事務所

照会先
財務省関東財務局
長野財務事務所 財務課
電話 026(234)5124(ダイヤルイン)

厳しい状況にあるなか、おおむね横ばいの動きとなっている。

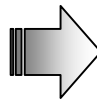
(今回のポイント)

- ・個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・住宅建設は前年を下回っている。
- ・公共事業は前年を上回っている。
- ・生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・企業収益は減益見込み、設備投資計画は増加見込みとなっている。
- ・企業の景況感は、全産業で「下降」超に転じている。
- ・雇用情勢は厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。



前回(23年7-9月期)

厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。



今回(23年10-12月期)

厳しい状況にあるなか、おおむね横ばいの動きとなっている。

(凡例)



晴れ



晴れ一部くもり



くもり一部晴れ



くもり



本ぐもり



小雨



雨

(各 論)

□ 個人消費……おおむね横ばいとなっている。

大型小売店販売額は、月によりばらつきがみられるものの、総じてみれば、横ばいとなっている。

コンビニエンスストア販売額は、前年を上回っている。

乗用車の新車登録届出台数は、前年を上回っている。

長野市の家計消費支出は、前年を上回っている。

□ 住宅建設……前年を下回っている。

新設住宅着工戸数をみると、前年を下回っている。

□ 設備投資……23年度通期は増加見込みとなっている。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で23年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比23.7%の増加見込み、非製造業は同▲2.0%の減少見込みとなっており、全産業では同16.0%の増加見込みとなっている。

□ 公共事業……前年を上回っている。

公共工事前払保証取扱状況(請負金額)をみると、前年を上回っている。

□ 生産活動……おおむね横ばいとなっている。

鉱工業生産指数をみると、11月は、一般機械、電気機械で上昇したが、情報通信機械、電子部品・デバイス、輸送機械、精密機械で低下しており、全体としてはおおむね横ばいとなっている。

□ 企業収益……23年度通期は減益見込みとなっている。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)で 23年度の経常損益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比▲65.3%の減益見込み、非製造業は同▲4.5%の減益見込みとなっており、全産業では同▲52.8%の減益見込みとなっている。

□ 企業の景況感……全産業で「下降」超に転じている。

法人企業景気予測調査(23年10~12月期調査)の 貴社の景況判断BSIをみると、全産業で「下降」超に転じている。

先行きについては、全産業で24年1~3月期、24年4~6月期ともに「下降」超で推移する見通しとなっている。

□ 雇用情勢……厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

有効求人倍率は低水準で推移しているものの、新規求人数は増加しており、緩やかな持ち直しの動きが続いている。一般雇用保険受給者実人員は減少しており、被保険者数は増加している。

(ヒアリング結果)

- ・金銭面で比較的余裕のある、節約に飽きた団塊の世代が、質の高い商品にお金を出すようになってきている。寒くなるとともに冬物の衣料品や身の回り品に動きがみられた。(百貨店)
- ・秋以降は、天候の崩れもあり厳しい状況となり、消費者の購買動向は弱く推移している。企画セールなどを実施しても消費者の財布のひもは堅く、マインドは厳しい。震災、タイの洪水、欧州の債務問題など悪いニュースが要因と感じている。(地元スーパー)
- ・紅葉などを求めて、秋口は宿泊客が前年よりも増加した。自粛ムードで我慢してきた反動と思われる。(宿泊)
- ・10月までは受注が増加していたが、タイの洪水によるサプライチェーンの障害により、受注は洪水前の約半分まで落ち込んだ。ただし、障害は12月には解消し、洪水前の水準まで回復した。震災によるサプライチェーンの障害に比べ短期間で障害が解消した要因は、部品メーカー各社が部材の代替調達により対応できたためだと思われる。1~3月期の受注はタイの洪水の影響で減少していた分、増加する見通しである。(自動車・同付属品)
- ・タイの洪水によりスポット的な受注が入り、11月下旬から12月にかけてフル生産となったが、12月中旬にはひと段落した。その後は在庫調整に入っており、1月は生産が落ちる見込みである。(電子部品・デバイス)
- ・震災によるサプライチェーンの障害が解消されてから現在までフル生産の状況にある。人員の不足分をパート社員で補ったが、現在のような忙しい状況は長くは続かないと考えている。(金属製品)
- ・円高により国内生産が厳しい状況ではあるが、地域の雇用は確保していかなければならないと考えている。国内では付加価値の高い製品に特化しながら生産体制を維持し、研究開発部門の拡充を図っていくことが必要である。(自動車・同付属品)

「最近の県内経済情勢」参考資料

目 次

| | |
|------------------------|---|
| 1 . 個人消費 P | 1 |
| 2 . 住宅建設 P | 2 |
| 3 . 設備投資 P | 2 |
| 4 . 公共事業 P | 3 |
| 5 . 生産活動 P | 4 |
| 6 . 企業収益 P | 5 |
| 7 . 企業の景況感 P | 6 |
| 8 . 雇用情勢 P | 7 |
| 9 . 企業倒産 P | 8 |

平成 24 年 1 月 25 日

財務省 関東財務局

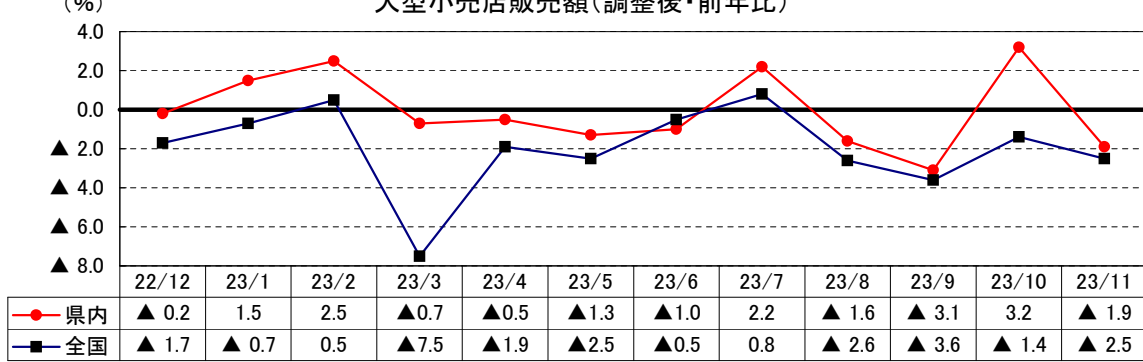
長野財務事務所

1. 個人消費

おおむね横ばいとなっている。

【図表1】

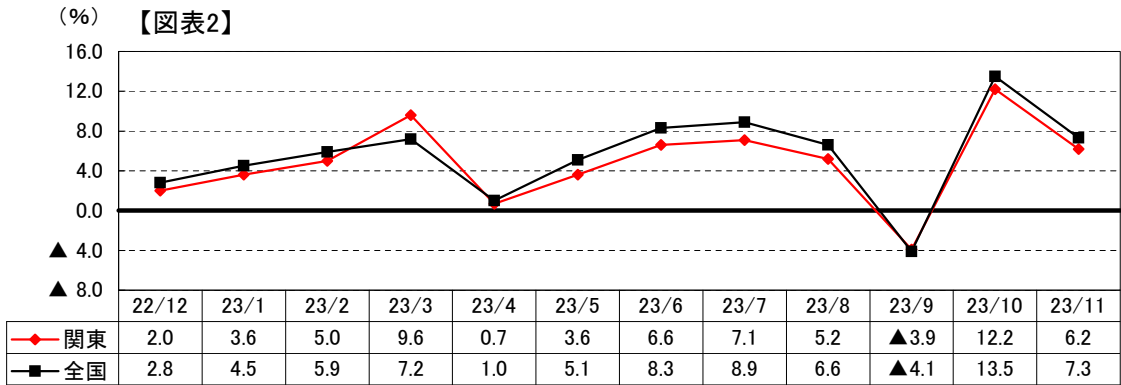
大型小売店販売額(調整後・前年比)



p:速報値
資料：経済産業省

コンビニエンスストア販売額(調整後・前年比)

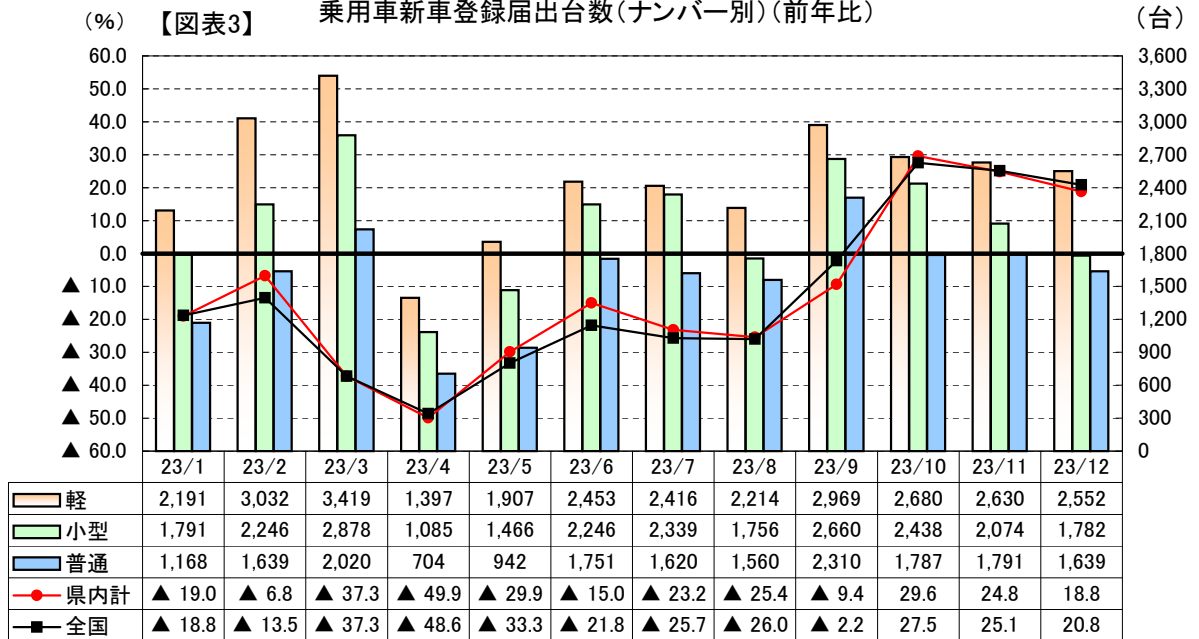
【図表2】



p:速報値
資料：経済産業省

【図表3】

乗用車新車登録届出台数(ナンバー別)(前年比)

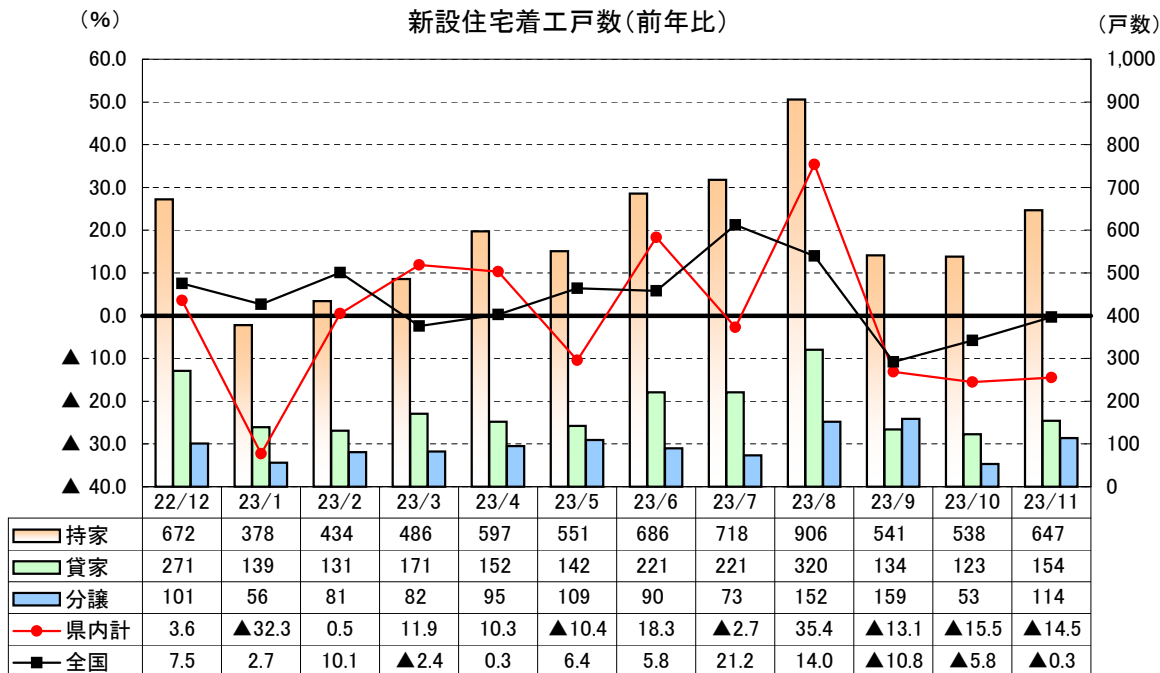


資料：日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

2. 住宅建設

前年を下回っている。

【図表4】



資料：長野県住宅課・国土交通省

3. 設備投資

23年度通期は増加見込みとなっている。

【図表5】

(前年同期比増減率：%)

| | 23年度上期 | 23年度下期 | 23年度通期 |
|----------|---------------|-----------------|---------------|
| 全規模(全産業) | 2.9 (45.8) | 25.9 (8.6) | 16.0 (24.6) |
| 大企業 | 0.1 (46.2) | 26.9 (7.8) | 15.3 (24.4) |
| 中堅企業 | 48.2 (34.8) | 20.4 (28.8) | 31.0 (31.1) |
| 中小企業 | 61.5 (67.3) | ▲26.4 (▲13.0) | 5.8 (15.1) |
| 製造業 | ▲0.9 (60.3) | 42.9 (21.8) | 23.7 (38.8) |
| 非製造業 | 12.7 (7.2) | ▲12.0 (▲21.5) | ▲2.0 (▲9.9) |

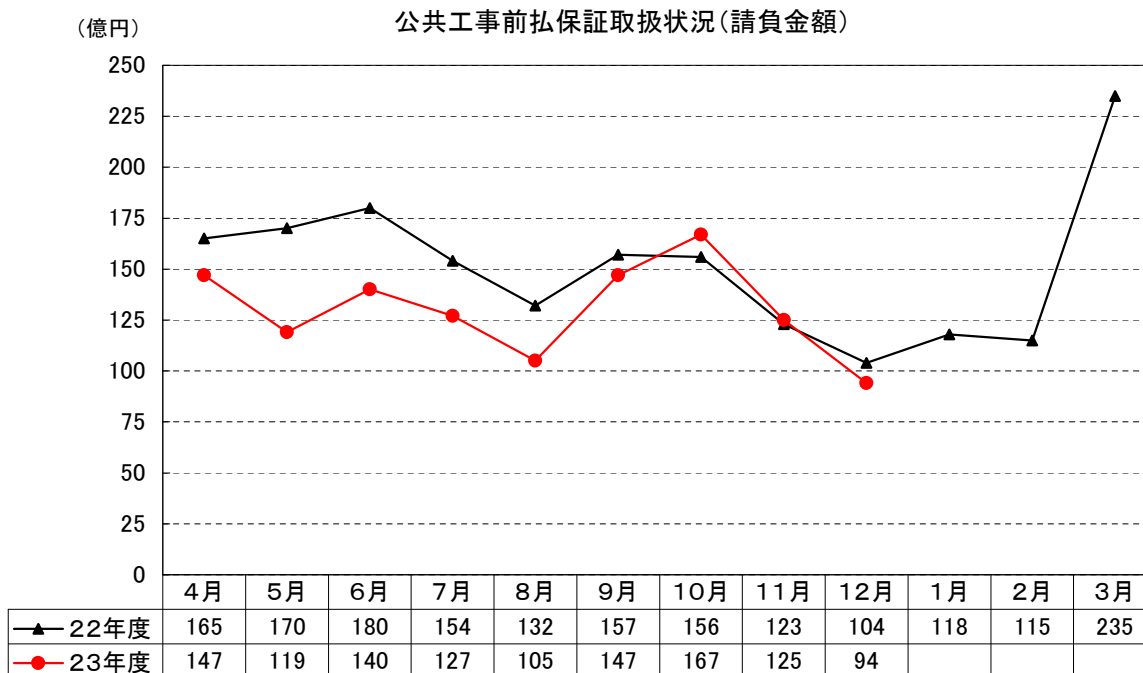
(注) () 書は前回(23年7~9月期)調査結果

資料：長野財務事務所

4. 公共事業

前年を上回っている。

【図表6】



資料:北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社、西日本建設業保証株式会社

【図表7】

○公共工事前払金保証取扱状況〔発注者別状況・平成23年度(4月～12月)累計〕(単位:百万円、%)

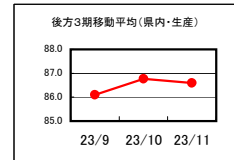
| | 合計 | 国 | 独立行政法人等 | 県 | 市町村 | 地方公社 | その他 |
|------|---------|--------|---------|--------|--------|-------|-------|
| 請負金額 | 117,010 | 21,762 | 7,237 | 32,484 | 51,354 | 393 | 3,778 |
| 前年比 | ▲12.7 | ▲13.1 | ▲45.9 | ▲8.5 | 1.0 | ▲58.3 | ▲54.6 |

※四捨五入の関係上、各請負金額の総和は合計に一致しない場合がある。

資料:北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社、西日本建設業保証株式会社

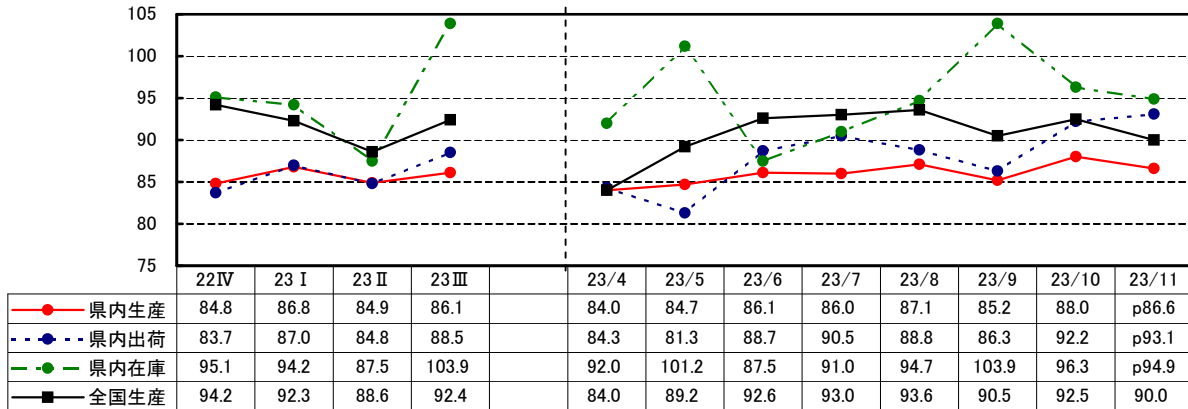
5. 生産活動

おおむね横ばいとなっている。



【図表8】

鉱工業指数(季節調整値・H17=100)

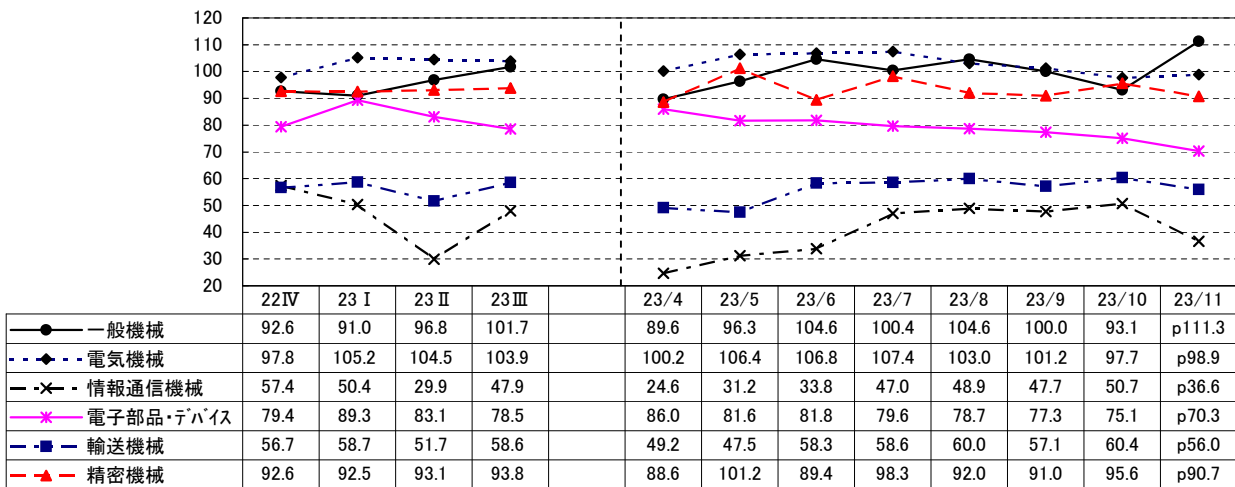


p:速報値

資料:長野県情報統計課・経済産業省

【図表9】

県内主要業種の生産指数(季節調整値・H17=100)

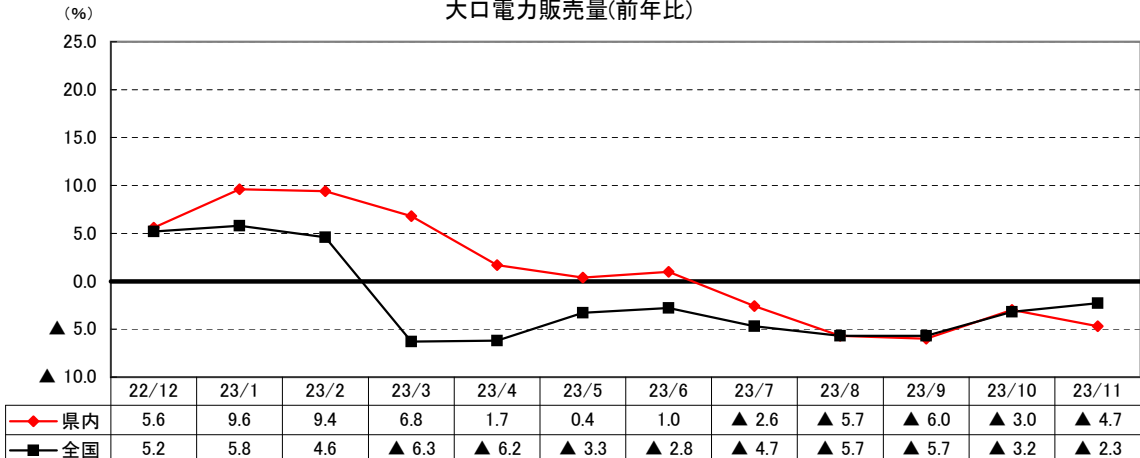


p:速報値

資料:長野県情報統計課・経済産業省

【図表10】

大口電力販売量(前年比)



資料:中部電力株式会社・電気事業連合会

6. 企業収益

23年度通期は減益見込みとなっている。

売上高（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）

【図表11】

（前年同期比増減率：％）

| | 23年度 | | |
|----------|--------------|------------|--------------|
| | 23年度上期 | 23年度下期 | 23年度通期 |
| 全規模（全産業） | ▲ 4.1（▲ 1.7） | 7.0（10.7） | 1.5（4.5） |
| 大企業 | ▲ 4.6（▲ 1.9） | 8.0（12.6） | 1.7（5.4） |
| 中堅企業 | ▲ 1.5（▲ 1.4） | 2.6（3.0） | 0.6（0.9） |
| 中小企業 | ▲ 4.5（1.3） | 2.7（▲ 1.8） | ▲ 0.8（▲ 0.3） |
| 製造業 | ▲ 5.1（▲ 1.9） | 9.6（14.8） | 2.2（6.3） |
| 非製造業 | ▲ 1.7（▲ 1.1） | 0.9（0.8） | ▲ 0.3（▲ 0.1） |

（注）（ ）書は前回（23年7～9月期）調査結果

資料：長野財務事務所

経常損益（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）

【図表12】

（前年同期比増減率：％）

| | 23年度 | | |
|----------|----------------|---------------|----------------|
| | 23年度上期 | 23年度下期 | 23年度通期 |
| 全規模（全産業） | ▲ 66.4（▲ 50.7） | ▲ 42.7（▲ 5.2） | ▲ 52.8（▲ 24.8） |
| 大企業 | ▲ 76.3（▲ 58.7） | ▲ 46.9（▲ 5.9） | ▲ 59.1（▲ 28.0） |
| 中堅企業 | ▲ 5.3（2.8） | ▲ 2.5（▲ 2.1） | ▲ 4.0（0.6） |
| 中小企業 | 2.6（13.7） | 8.8（32.1） | 5.8（24.1） |
| 製造業 | ▲ 72.2（▲ 54.1） | ▲ 59.3（▲ 9.1） | ▲ 65.3（▲ 30.1） |
| 非製造業 | ▲ 29.9（▲ 28.9） | 5.9（6.5） | ▲ 4.5（▲ 3.8） |

（注）（ ）書は前回（23年7～9月期）調査結果

資料：長野財務事務所

7. 企業の景況感

全産業で「下降」超に転じている。

貴社の景況判断BSIの推移 (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表13】

(単位：%ポイント)

| | 23年7～9月 前回調査 | 23年10～12月 現状判断 | 24年1～3月 見通し | 24年4～6月 見通し |
|----------|-----------------|-------------------|----------------|----------------|
| 全規模（全産業） | 0.5 | ▲ 8.0（▲ 1.1） | ▲ 9.1（▲ 6.0） | ▲ 1.6 |
| 大企業 | 9.4 | ▲ 11.3（13.2） | 3.8（▲ 1.9） | 3.8 |
| 中堅企業 | 14.0 | 2.4（9.3） | 2.4（14.0） | 14.3 |
| 中小企業 | ▲ 11.4 | ▲ 10.9（▲ 14.8） | ▲ 21.7（▲ 18.2） | ▲ 12.0 |
| 製造業 | 10.8 | ▲ 22.1（4.6） | 1.5（6.2） | 10.3 |
| 非製造業 | ▲ 5.0 | 0.0（▲ 4.2） | ▲ 15.1（▲ 12.6） | ▲ 8.4 |

(注) () 書は前回（23年7～9月期）調査時の見通し

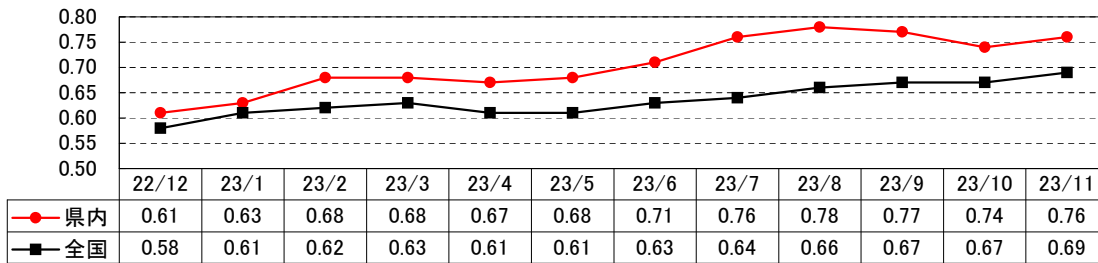
資料：長野財務事務所

8. 雇用情勢

厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

【図表14】

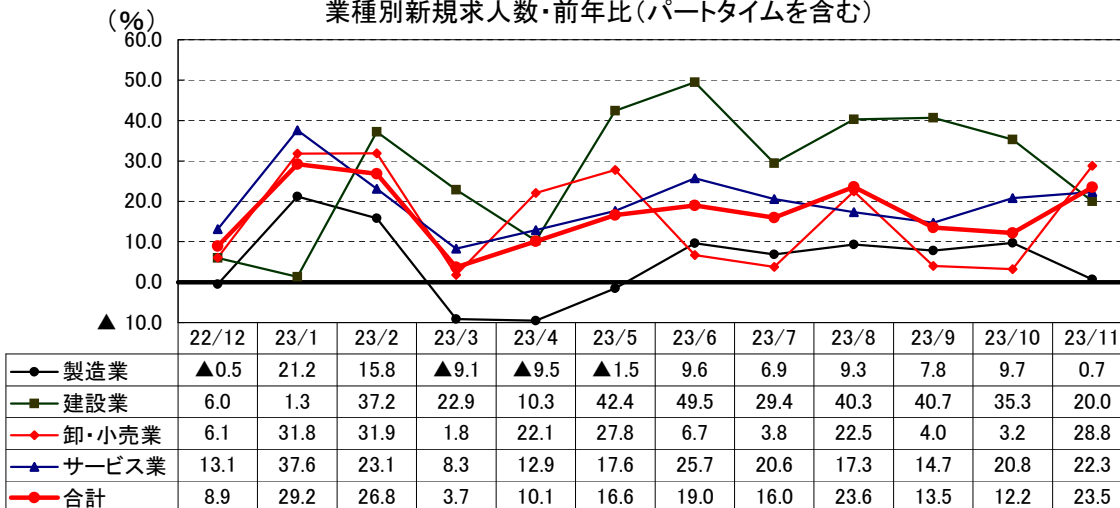
有効求人倍率の推移



資料:長野労働局・厚生労働省

【図表15】

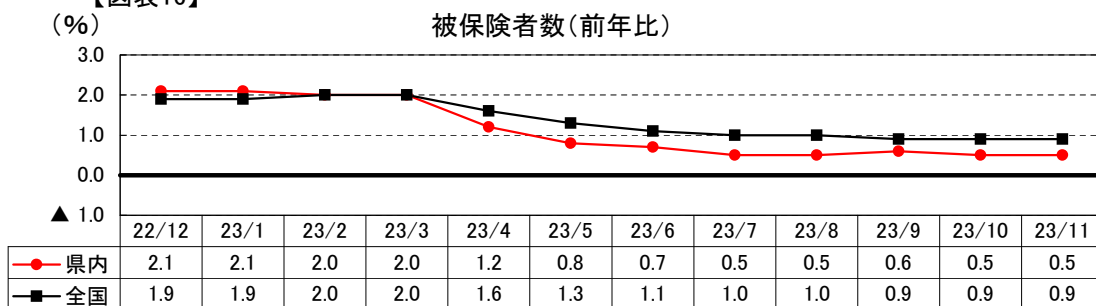
業種別新規求人人数・前年比(パートタイムを含む)



資料:長野労働局

【図表16】

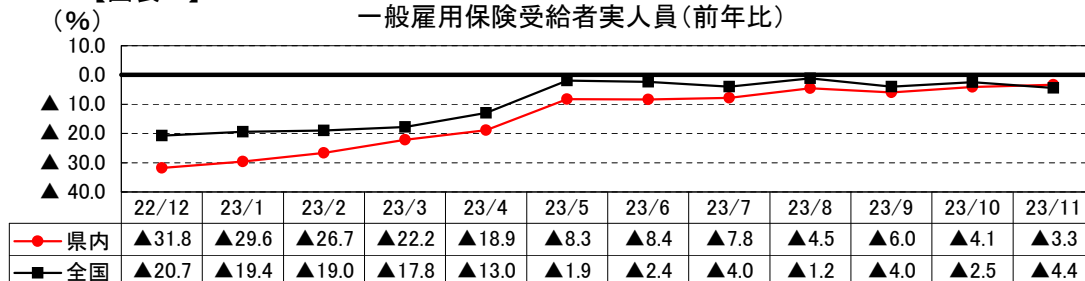
被保険者数(前年比)



資料:長野労働局・厚生労働省

【図表17】

一般雇用保険受給者実人員(前年比)



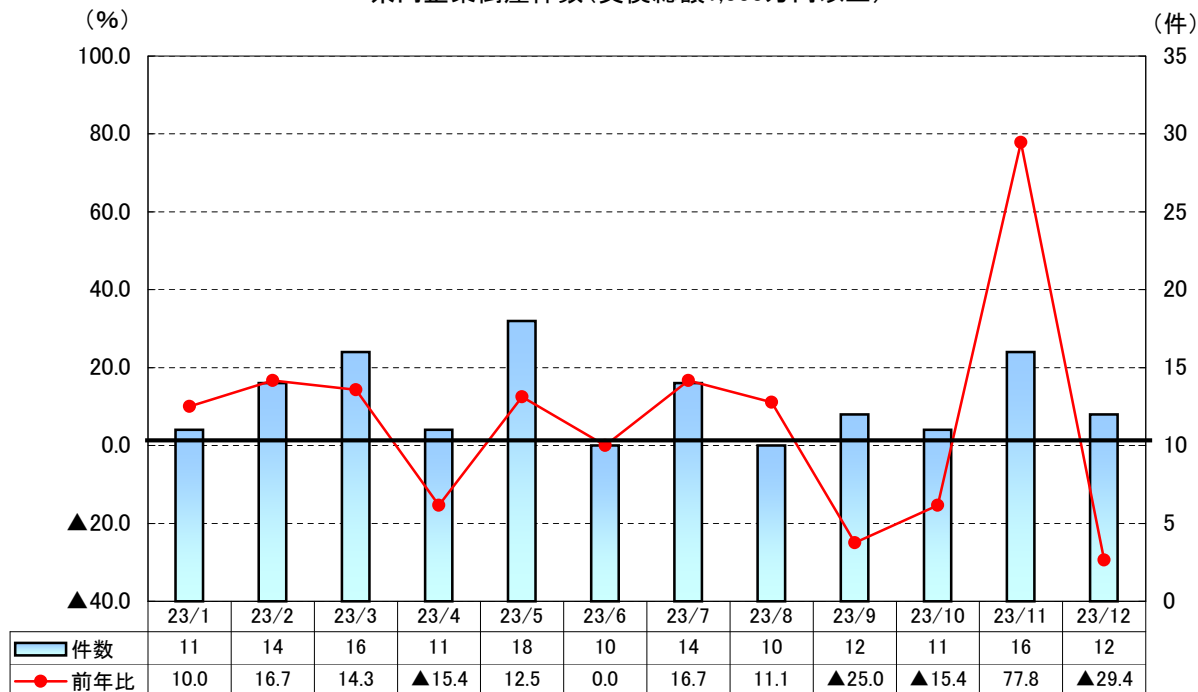
資料:長野労働局・厚生労働省

9. 企業倒産

月によりばらつきがみられるものの、総じてみれば、おおむね横ばいで推移している。

【図表18】

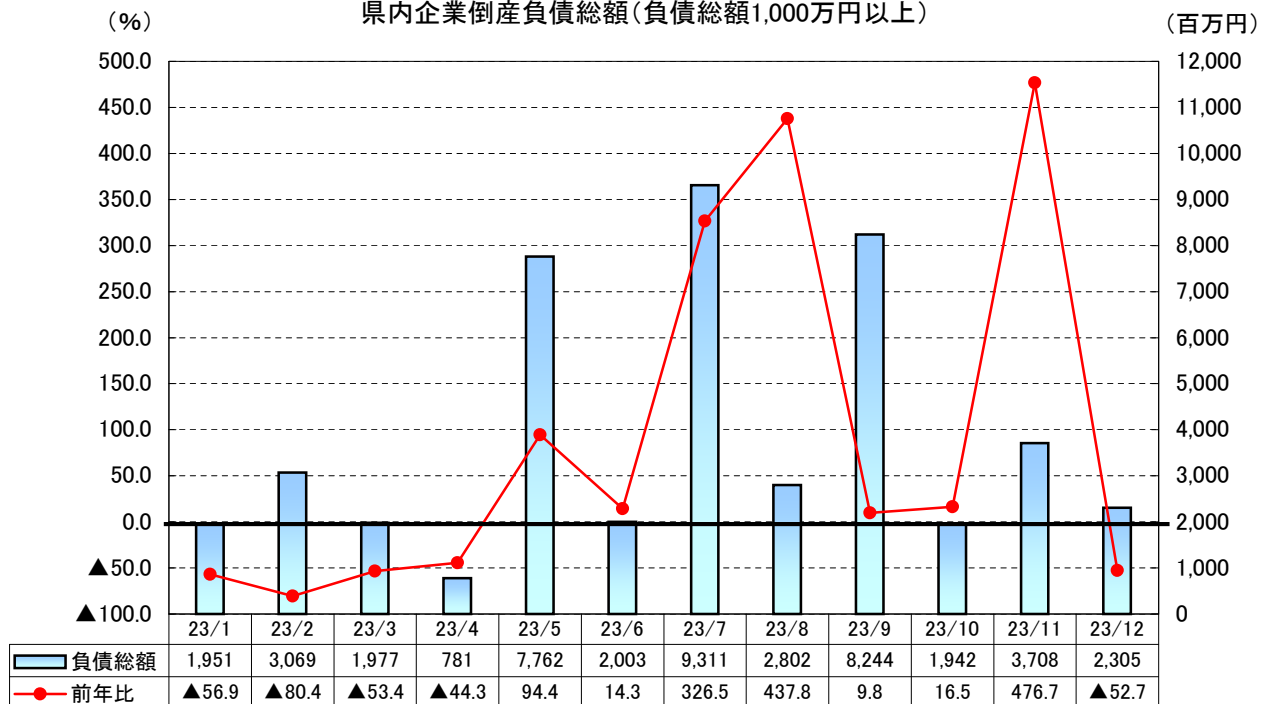
県内企業倒産件数(負債総額1,000万円以上)



資料:東京商工リサーチ

【図表19】

県内企業倒産負債総額(負債総額1,000万円以上)



資料:東京商工リサーチ